

「マルテンサイトの強靱化研究部会」設立のお知らせと参加者募集

熱処理技術は金属材料の高機能化を可能にする汎用的な手法として進化し、工業の発展に大きく貢献してきました。とくに、「鋼の焼入れ処理」は高強度鋼を得るための基礎技術として広く活用されています。さらに、カーボンニュートラルを代表とする SDGs に向けた社会的要求により、社会基盤材料である鉄鋼材料には更なる高強度化が望まれており、これを活用した新たな熱処理技術や材料開発が必要になると予想されます。その一方で、「鋼の焼入れ処理」は古くから続く研究分野であり、これを支え、発展させるための人材の継続も大きな課題となります。すなわち、若手の研究者・技術者が中心となって、「鋼の焼入れ処理」によって得られるマルテンサイト鋼の高強度化メカニズムに対する基礎原理を深く理解し、これを新たな熱処理技術へ応用発展させるための研究コミュニティが必要と考えました。このような背景から、「至近の熱処理技術と特性研究部会」（高橋学部会長，2020～2021年度，のちに1年間の期間延長）が設置され、その中に設けられた「マルテンサイトの強靱化ワーキンググループ」では、バルク熱処理に主眼を置いた活発な研究討論を続けてきました。

この度、本ワーキンググループを基礎として、より広範な活動を持続させるため、「マルテンサイトの強靱化研究部会」を設立することになりました。所属や年齢を問わず、研究者や技術者はもちろん、関心のある方のご参加をお待ちしています。

【活動期間】

2023年4月～2025年3月

【活動内容】

年3回程度の研究討論会を開催し、鉄鋼材料のマルテンサイト変態と変態組織、さらにマルテンサイト鋼の力学特性に関するレビュー、最近の研究課題などを紹介し、議論を行います。また、より専門的な知識を有した識者を個別に招待し、基調講演などを通して深い議論を行います。

【発起人】

中田 伸生（東京工業大学）

【参加資格】

正会員あるいは維持会員所属の方。非会員の方でも、参加後にご入会いただければ参加可能です。

【参加希望者の申し込み方法】

参加希望者は協会事務局に申し出を行ってください。

申込先：日本熱処理技術協会事務局 e-mail: jsht-honbu@jsht.or.jp

参加希望者の氏名、所属、連絡先（含む e-mail）を記入ください。

※メールのタイトルに「新研究部会（マルテンサイトの強靱化）参加希望」と記入ください。